



寄居の魅力に
気づいた
1%の人が
変われない寄居を
変えていく

お元気
ですか

寄居議会です No. 100





100号 記念企画

+ 100人アンケート 若者世代

今回は、議会だより100号の記念企画。「これからの寄居」について、日本総研 主席研究員 藻谷浩介氏にお話を聞きました。

町の将来性について、客観的に見た示唆に富むご意見を伺うことができました。さらに、寄居町の若者世代100人の声を議員が取材。寄居を愛する多くの人の心に響く内容になれば幸いです。



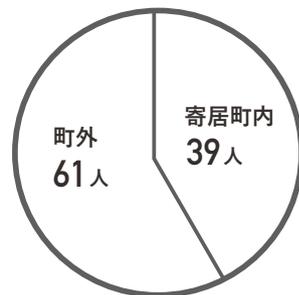
藻谷浩介

もたに こうすけ

Motani Kousuke
地域エコノミスト

1964年山口県生まれ。東京大学法学部卒業。米コロンビア大学経営大学院修了。日本政策投資銀行参事役を経て、日本総合研究所主席研究員。平成大合併前の約3200市町村のすべてを私費で訪問し、地域特性を多面的に把握。地域振興や人口問題に関して精力的に研究・執筆・講演を行っている。著書に『デフレの正体』『里山資本主義』『東京脱出論』など多数。

100人アンケート 若者世代 10年後に住みたいのは？



人の温かさを感じながら

実家を継ぐため、大学から7年間で過ごした京都から帰郷。大好きな寄居町で古きを学びつつ、時代に合った新しいカタチを模索していきたいと思っています。

まるやまあきお 丸山陽央さん (桜沢)



ある町に!!

（聞き手：峯岸議長）まずは、いま皆さんの一番の関心事である新型コロナウイルスについてお聞かせください。
藻谷 はい、このウイルスの特徴として、まず1点目に「死亡者の男女比」。男性は女性の約2倍です。2点目は「高齢者の死亡率が高い」ということ。死亡者中70歳以上が9割を占め、19歳以下はゼロです。年齢による偏りがこれほど大きいウイルスは珍しいですね。3点目は本日のテーマともつながりますが、都会と田舎の差が激しい「地域間格差ウイルス」ということです。日本全体の感染者の25%が東京23区に集中しています。

世界的に見ても日本は人口密度の高い国ですが、換気ができず飛沫がこもりやすい場が特に危険です。逆に言えば、三密を避けやすい田舎では、注意さえ怠らなければ、ほとんど心配いりません。メディアの影響を受け「コロナ警察」と言われるように住民同士が相互にプレッシャーをかけあうよりも、数字やデータを正しく見て対応することが重要だと思います。

ただの田舎ではない
—— 経済や産業に目を転じてみると、地方創生ということでインバウンドを含む観光、集客をがんばっていた地域ほどコロナの影響が大きいですね。寄居町も一定の影響はありますが、そこまで深刻になっていないように思います。

藻谷 おっしゃるとおりです。確かに頑張っていた地域、成功例とされてき

関東の要衝「小田原・八王子・寄居・高崎」

四季美しいふるさとを 次世代へつなげたい

(左から)

「1年中桜に出会える町・寄居」を代表する1本 氏邦桜
手つかずの自然が残る寄居の奥座敷 風布
大花火と舟山車の競演 関東一の水祭 寄居玉淀水天宮祭



特別対談 これからの寄居

議会だより

特別対談

これからの寄居

「変化は起きるものではなく、起こすものなんです」



稼ぐ場も 使う場も

「可能性の扉」を開くには？ (峯岸)

た町が大きなダメージを受けています。しかし、コロナは必ず終息します。アフターコロナは大きく変わると言われていますが、なかなか変わらないのが日本です。そういった意味では、コロナに関係なく「町の方向性」がとても大切になります。寄居町には何度も来ていますが、いつも感じるの、空も山も川も、そして水も空気もきれいな町、ということ。明治・大正時代の寄居町の先人たちは、東京に対する寄居の価値がわかっていました。鉄道を三線引き入れ、文化人も寄居に別荘を持っていました。今の軽井沢のように玉淀がにぎわったのも、そうした先人の先見性と言えます。ただ、今の寄居の人は自分たちの町の価値がわからなくなってしまうのではないですか。

江戸が大都市として整備される前は、関東の要衝ようしゅうと言え、小田原・八王子・寄居・高崎でした。寄居は、東京はもちろん、上信越や関西方面に行くにも、とても便利です。京風の文化も残っていて、災害にも強い。それらを再認識して町の方向性を打ち出していけば、名実ともに「人が寄る町、居つく町」になるはず。ただ、必死に頑張らなくても暮らしていけるといところが、寄居の利点でもあり、課題でもありますけれど(笑)。

地域内経済循環を拡大せよ

——2021年度にホンダが県内の生産体制を寄居町に集約することになります。町では企業誘致をはじめ、雇用・税金にも大いに期待をしているのですが。

藻谷

大企業が来ても、税金以外、地域の商工業にはあまり恩恵がないと考える人がいますが、そうではないんです。町の税金が増えれば役場が使えるお金が増え、それが町の様々な事業者に戻る。従業員の給与や、関係する地元企業の売上も同じで、使われずに貯め込まれるとか、東京でばかり使われるということにならず、地域内でも循環するということがとても大切です。言い換えると「地域内の誰かが稼いだお金が、地域内で使われて一周して返ってくる」と。これを「地域内経済循環」と言います。この地域内経済循環を大きくしていくことが、とても重要です。

人間に例えると、栄養ある食品を食べ



チャリティー サンマ祭 / 「ぼくが一番!」 親たちの歓声も響いた こどもスライダー大会 / 市街地に多くの人が集まる ふるさとの祭典市

100人 若世代 アンケート

寄居町の可能性を生かしていくポイントは?

文化・歴史 3人

自然が豊か 27人

交通の利便性がよい 25人

災害に強い 25人

都内から近い 14人

人のよさ 6人

キーワードは原点回帰

寄居の良さは「余白」が溢れていること。無いものは、ゼロから新しく作り出せばいいと思っています。若者の可能性を引き出す未来の寺子屋を開き、次世代につなげる持続可能なまちづくりのために貢献したいですね。清田享平さん(西部)



実感した「寄居の人の良さ」

「これから学校?」近所の人のこんなひと声、とても温かいんですよね。東京に住んだからこそ、今、改めて感じているのは「寄居の人の良さ」です。



大木梨世さん(用土)

ただではお腹に脂肪がつくだけで、かえって不健康ですよね。運動することで、全身に栄養が回って活性化し、健康になる。町や国も同じで、特定の人がお金をたくさん蓄えるだけではダメなんです。すべてを地域内で買うことは不可能ですが、寄居町の3万2000人が今よりたった1%、地元で使うお金を増やせば、町は劇的に変わります。地元で落ちるお金が、数億円アップするからです。

世界のホンダが来たことで、皆さんは大きなチャンスを手に入れたと思います。でも、チャンスは生かさなければゼロ。税収以外のチャンスも広げていくには「極力町内でお金を循環させ、町内産業を育てる!」という町民の意識が不可欠です。

北海道には、漁業と酪農が大変盛んで、平均年収が1000万円を超えている村があります。しかし、行ってみると非常に寂れている。理由は、村民が皆、数時間かけて札幌へ買い物に行き、村にお金が落ちていないからです。収入はあるのに、村では漁業と酪農以外の産業がまったく育っていない。これでは、地域の発展はありません。「稼ぐ場・使う場」この両方がなければ、町はいずれ衰退してしまいます。

寄居のポテンシャル

— それでは、寄居町の可能性を引き出すために、オススメの取り組みはありますか。

藻谷 地元に住んでいるとわからないかもしれませんが、寄居は立地条件と住み良さを兼ね備えている。さすが世界のホンダが選んだ町だ、と思いますね。ただ、その「町のポテンシャル(潜在的な力)」を生かしていき

ていないように感じます。

例えば、いま首都圏近郊の道の駅、農産物直売所で、腕の良いマネージャーのいるところは、大繁盛している。地元の農家や日曜農家を巻き込んで大きな経済循環を起しています。キッチンカーやコーヒースタンドを併設した新しいタイプの朝市もブームで、八戸市の館鼻岸壁朝市は、毎回1万人以上の集客があります。マルシェや朝市をやるとして、例えばはこの寄居町役場の駐車場はすごくいいですよ。駅の横だから首都圏からも買いに来

変化は起きるものではなく“起こすもの”なんです(藻谷)





藻谷氏を招いて「これからの寄居を語り合う」。コロナ対策に万全を期して、換気は十分でしたが、熱気を帯びた対談となりました。



にぎわい、活気はつくり出すもの (左から) 震災復興支援

100人 若者世代 アンケート

寄居町を変えていくために必要なことは?

高齢者が活躍すること 3人

若い人が活躍すること 61人

世代交代 21人

外部から専門家を招く 15人

生まれ育ったこの町「寄居」で

都内での経験を生かして「地元の人たちが気軽に寄れてホッとできる場所をつくりたいな」と思ってカフェを開業したんです。やっぱり、生まれ育った寄居が好きです。

山口未来さん (鉢形)

議会は、常に若者の「声」を聴いていきます。寄居の若者に「議会は必要?」とズバツと聴いた、議会だよりNo.88もご覧ください。



次の時代を走る君たちへ

最後に、寄居町の若者に一言お願いします。

藻谷 若い方に一言申し上げるなら「いい学校を出ていい会社に入るのが目的のお受験エリートになるな」ということですね。日本は短期間で急速に寿命が伸び、人生100年時代となりました。60歳まで必死に競争して勝ち組のつもりでいても、残りの40年はどう生きるのでしょうか。本当の教育とは「生食っていけることを教える教育」です。「寄居町なんてダメだ」と言っている人の意見は聞かないほう

ることができる。十分開催できるはず。あとは、経済だけでなく文化の香りするものも若い定住者を増やすポイントです。例えば図書館。寄居は伝統的に文化の香り高い町ですから、中身の魅力的な図書館づくりにチャレンジしてみるのもおすすめです。

ヒト・モノ・カネ・情報が、使い潰されず、淀まらずに循環し、再生され、次世代に続いていく社会をめざしたい

がいいですね。田舎にいても都会にいても、そしてどんな状況になっても、たくましく生きていける力こそ重要です。いま、ユーザーとして儲けている高校生もいますよね。昔は考えられなかったことです。今は「やれる人は、どこにいてもどんどんやれる」という土台はできているんです。

都会で大企業の歯車の一部になるよりも、寄居町で本業のほかにもいくつもの仕事をこなし、仲間とともに70歳、80歳になってもやりがいを持って働ける人生のほうがはるかに魅力的だと思いますが、いかがですか。人は、意識しなければ自分を変えることはできません。しかし、寄居の魅力に気づき、自分を変えることができた1%の人が寄居町を変えていくことになると思います。

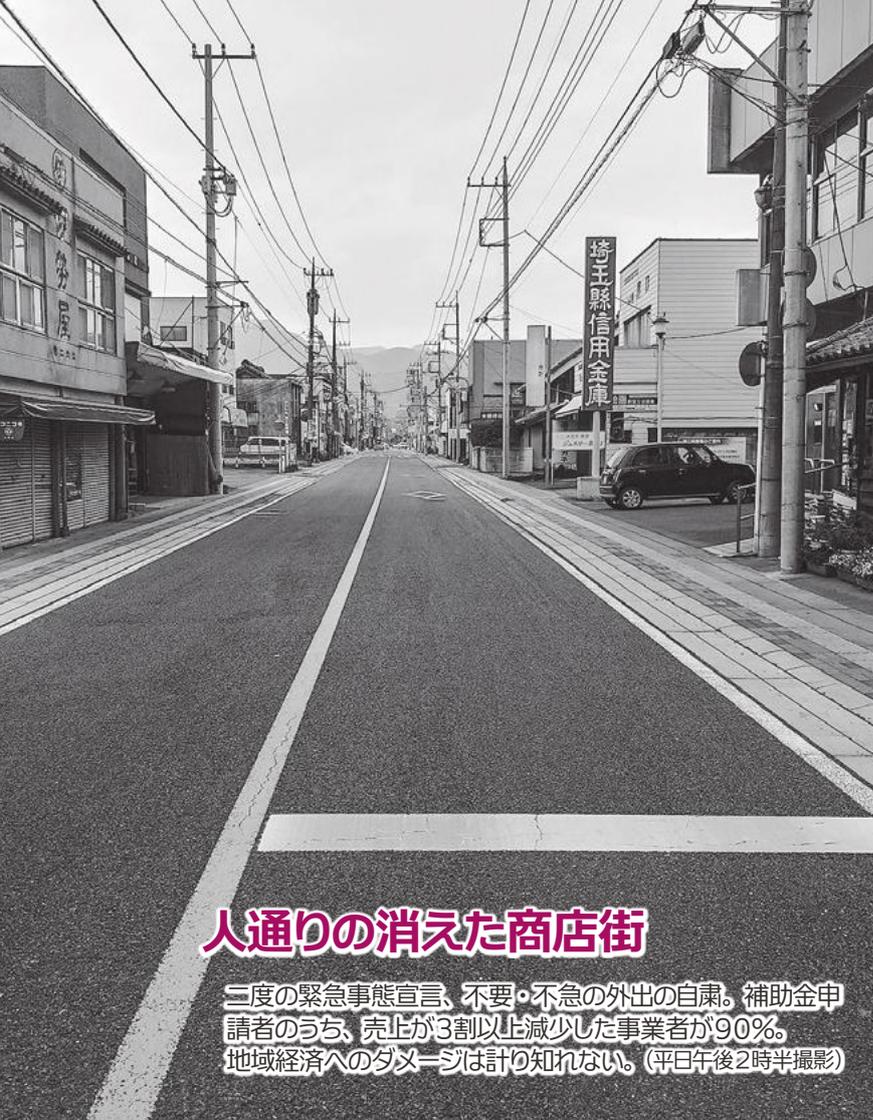
この対談をきっかけとして「新たな挑戦者」が現れることを期待したいと思います。本日はありがとうございました。



5 Minutes Movie

対談ダイジェスト動画はこちらから





人通りの消えた商店街

三度の緊急事態宣言、不要・不急の外出の自粛。補助金申請者のうち、売上が3割以上減少した事業者が90%。地域経済へのダメージは計り知れない。(平日午後2時半撮影)

令和3年度予算 / 議会はこう見る

歳入

コロナ直撃!

個人所得落ちる

ギカイの視点
 コロナ禍による景気の悪化、町税の減収。財源不足を補うための町債（借金）の増額など、財政運営は厳しさを増している。大切なことは、アフターコロナに向けて、地域の経済力をいかに高めるか。稼ぐ力を取り戻せるか。

Keyword

令和3年度の財政はさらに厳しさ増す…

令和3年度一般会計 歳入 111.6億円

自主財源 54.9億円 (49.2%)			依存財源 56.7億円 (50.8%)			
町税 (町民税・固定資産税等)	財調より繰入 (貯金取り崩し)	その他	その他	地方債 (借金)	地方交付税 交付金	国庫補助
44.9億円 (-8.1%)	4.0億円	6.9億円	20.4億円	11.2億円	11.5億円	13.6億円

注) 1000万円未満切捨てで表記しているため、合計が合わない場合があります。

2021年度、ホンダの県内生産体制が寄居工場に集約される。自主財源、安定財源確保のために、関連企業誘致はもちろん、産業全般でこのチャンスを全力で生かそう!

Point

1



町民税 (-21.6%)
 3億9375万円減

Point

2



地方債 (借金) (+18.3%)
 1億7310万円増

Point

3



国からの支援 (地方交付税) (+8.5%)
 9000万円増

地域の大切なのは
 「稼ぐ力」の復活



女子高生
JK目線で

おしゃれなカフェやインスタ映えするスポット、
Wi-Fi環境、無料充電器があつたらうれしいよ
いわもとまお
岩本麻緒さん(市街地)

新年度予算は 駅前拠点施設 2589万2000円
拠点広場の整備
駅周辺街路整備 3億1888万2000円

町の顔リニューアルまであと2年

魅力ある駅前は、誰かが作ってくれるわけではない。
あなたが使う(利用する)ことで駅前は魅力的になる。



広報より(令和2年11月号)P2-3
「寄居駅南口が変わります」

解説 駅周辺街路整備事業が着々と進む中、新型コロナウイルスの影響で南口駅前拠点施設の国庫補助事業が大幅見直し。事業主体は町に、運営のみ「まちづくり会社」となる。事業費による国の補助率は3分の2から2分の1に変更となる。

進む、中心市街地活性化事業

ギカイの視点 駅前拠点施設は町の顔。町村としては初めての試み。都市再生推進法人に認定されている「まちづくり会社」の運営に期待。柔軟な発想でいかに魅力を出せるか。

新年度予算は ようど保育園 7779万6000円
施設型給付費等
病後児保育事業 745万8000円

解説 用土保育所は、令和3年3月31日をもって廃止。日をもって廃止(今までの用土保育所利用者は全員転所園となる)。4月1日、社会福祉法人後仁会による「ようど保育園」が開園。同時に、町内に住む子どもたちに対し、町として初めて取り組む病後児保育事業(※)がスタート。

「ようど保育園」開園 用土保育所が民営化

ギカイの視点 民営化となり、新しい環境下での保育。子どもたちに対し支障がないよう配慮を。病後児保育事業は保護者の「子育て」「就労」の両面支援に期待。

令和3年度予算 / 議会はどう見る

事業

注目の2事業

期待に応えられるか

ギカイの視点 個人所得の減少や収益悪化などから厳しい税収減の中、町の未来を見据えた「まちづくり」「子育て」の予算に注目！
コロナ禍でも、子育て世代、働く女性、若者世代が「寄居に住んでよかった」と思える事業の展開に期待。

働くママ、助かります

子どもの体調が悪く、仕事を休まなければいけないことも。子育てしながら安心して働ける「病後児保育」うれしいです。

えびなゆうこ
海老根裕子さん(西部)
はやて たすく
颯ちゃん(左)・佑ちゃん(右)



寄居町初の病後児保育スタート

対象は町内全域の6か月～6年生の児童。
小学生も対象となることからしっかりとした周知を。



病後児室



議会発政策サイクル



それは ←
 町民の **声** を
カタチ にする **力**



あの提言は どうなった

議会発 政策サイクル

ギカイの
視点

「町民の・町民による・町民のためのまちづくりを議会機能をフル活用して実現したい。」
 これが議会議員16名の思いです。

議会報告会、意見交換会、陳情・請願、町民取材を通して聞いた「町民の声」をカタチにする力。
 それが「議会発政策サイクル」。

町民の声をカタチにした『議会からの提言』が、どう予算化、事業化されたのか。

令和2年に提言した全会一致の6項目について検証します。

あわせて
見たい
読みたい



議会だよりNo.98
 ▶P12-13「だから今、
 議会は町に提言する」



提言
01

ふるさとを守るための提言
コロナ禍における地域経済への支援・強化



議会の提言
令和3年度予算にどう反映

新型コロナウイルスワクチン接種事業…1650万2000円 ※専決処分
ワクチン接種委託料463万4000円 接種券作成業務委託料477万3000円ほか

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金…2350万7000円 ※補正予算
ワクチン接種事業協力病院等支援事業 2000万円ほか

新型コロナウイルスワクチン接種対策費補助金ほか…2億4835万円
ワクチン接種委託料追加 1億3869万円
保育環境改善事業ほか990万円 (感染症対策備品など)

ギカイの
視点

- ①短期間で多くの町民に接種する前例のない大規模事業。
人員の確保、コンピューターシステムの改修、接種券の作成など、国から示された準備について早急に対応するための専決処分と補正予算を承認、可決。
- ②高齢者(約1万1000人)へのワクチン確保と安全安心な環境での接種を要望。
- ③未だ見えぬ収束。町内業者は大変疲弊している。支援格差を是正してさらに効果的な経済支援策を打ち出してほしい。

収束へワクチン接種を

ギカイ議論 (質疑)

問 小規模事業者緊急支援事業追加支援金の申請状況は。

答 推定事業者数1060件中申請は685件で、その約90%が売上が30%以上減少しています。新型コロナにより各種イベントが中止になったことなどの経済的損失が大きい状況です。

問 誰もが感染するリスクがある中、実際、感染された方や医療従事者に対して思いやりを持って接するこ

との大切さを発信すべきではないか。

答 感染症に関連した誤解や偏見に基づく誹謗中傷や差別的な言動は許されないことなど、周知啓発するための取り組みを進めていきます。

現場を見て!



コロナ禍も休まず保育を行ってきました。子ども達の健やかな成長・明るい未来を使命に、保育に当たっています。

まつもとまさよ
松本昌代さん (西部)



マイナンバー取得を

提言 03

未来を拓く デジタル化の推進

ための提言

- 議会からの提言
令和3年度予算に「」反映
- 職員向けネットワークの無線LAN化…70万円
 - ICTの利活用による事務の効率化…197万円
 - マイナンバーカード交付予約管理システム使用料…39万6000円

ギカイの視点

- ①音声や手書き書類をデータ化して業務効率化を図るAI-OCRシステムの導入などは職員の働き方改革への第一歩。
- ②さらに町民サービスの向上に向け、行政手続のオンライン化を進めよ。



ギカイ議論(質疑)

- 問** 町として本格的なデジタル化に向けた推進計画やロードマップを策定すべきでは。
- 答** 全庁的なデジタル化の推進を目的として「情報システム整備計画」の策定を進めます。
- 問** インターネットによる公共施設の予約システムの構築を。
- 答** 費用対効果を考え、システム業者等と検討していきます。



IT機器をどう活かすか

様々なことが高速化され、経済・教育・行政等、社会環境の変化に活かす重要性。

もりた しげる
森田 茂さん(録形)



読み書きそろばん→「タブレット」

提言 02

人を育てる 教育の充実・強化

ための提言

- 議会からの提言
令和3年度予算に「」反映
- GIGAスクール構想事業…3027万円
 - 電子図書館運営事業…266万円
 - 男衾中学校建替え検討事業…1000万円

ギカイの視点

- ①コロナ禍の学びの保障、GIGAスクール整備の前倒しで児童生徒の手元に用意された一人1台のタブレット。「読み書きそろばん」から「読み書きタブレット」の時代へ。
- ②デジタル教科書などICTを活用した多様な学びを「学力向上」につなげられるか。



ギカイ議論(質疑)

- 問** GIGAスクールにおいて、特に期待できる効果と学力向上対策は。
- 答** 各教科でタブレットを使用し、授業でより分かりやすく学ぶことができ、家庭学習にも意欲的に取り組むことができます。令和3年度は文科省のデジタル教科書研究校として、小学校(道徳)1校、中学校(音楽・理科)1校が指定を受けており、今後町の独自性についても研究していきます。



IT教育の強化

町の方向性が重視されます。GIGAスクールで文化面でも教育の先端を目指して。

おしだ そうま
押田颯馬さん(男衾)

利用者目線での推進を

新時代の学びを育む

議会からの6項目の提言、令和3年度予算に どう反映されたのか

提言 04

農業政策 土地を生かす ための提言



消費者に新鮮で完熟度の高いものを届けたい



Interview

寄居に移住して
トマト農園を営んでいます

さしもとけいし
岸本圭司さん(桜沢)

小学校の頃から農業に挑戦したくて、宮崎から妻の実家がある寄居に移住したんです。鍬一つからのスタートでしたが、「寄居町明日の農業担い手育成塾(*)」を活用して、先輩農家の元で1年研修。農地の貸借制度を利用して用土に約20アールの農地を借りることができました。役場の担当者、先輩農家の皆さんとの出会いがあり、4年経ってようやく軌道に乗ってきたところです。

目指せ！

—野菜の高付加価値とは？

炭酸ガスを使って光合成を最大化し、トマトを甘くする工夫をしています。これは全国的な流れ。こういうことをやらないとトマト農家は潰れていくと思います。高付加価値の解釈は難しいですが「食べてもらえればわかる！」で勝負しています。

儲かる農業

—魅力ある農業、儲かる工夫は？

コロナ禍で価格が乱高下する中、実は儲かりました(笑)。温度湿度管理の徹底で病気を出さない等、緻密な戦略は必要です。寄居町は、様々な施策で新規就農者を支援してくれませんが、販路拡大も含め、自ら切り拓いていく覚悟は必要。魅力ある農業の実践者として、これからもずっと寄居町で農家を続けていきたいですね。

議会からの提言 令和3年度予算にどう反映

新規就農担い手育成事業(有機農業実践講座) …45万円

農地中間管理事業借受奨励金 …175万円

有害鳥獣対策事業 …604万円

ギカイの視点

- ①有機農業実践講座…有機農業を
実践する町内の若手農業者が就農希望者に
直接指導。
- ②「空き家」と「遊休農地」セットで取得促進…町内の空き家に付随した遊休農地の権利取得の下限面積を引き下げる。
- ③新規就農者のさらなる受入れを期待。



ギカイ議論(質疑)

問 農地の利用集積・集約化の見通しは。

答 安心して農地の貸借ができる「農地中間管理機構」の活用で、農地の利活用を進めていきます。

問 農産物の特産化・ブランド化の取組は。

答 特産品開発支援、寄居ととろナス研究会に助成。有機農業の農産物の高付加価値化を進めます。

町HP
「空き家に付随した農地の取得について」



農業を町の基本政策に

農業の持続には、町の支援が不可欠。新規就農者が増え、安定経営ができるよう、地場産業発展に予算をつけてほしいですね。
おおさわ いさむ
大澤 勇さん(男)



ことば

(*) 寄居町明日の農業担い手育成塾 新たな農業の担い手を育成するため、指導者による実践研修を受講し、町内で就農できるよう支援を行う事業。

※金額は万円(未満切捨)

全面開通 スマートインター



提言

06

仕事を創る
企業誘致

議会からの提言
令和3年度予算にどう反映

農村地域産業導入実施計画
変更(寄居スマートIC周辺
開発のため)…603万円

寄居桜沢地区(仮称)産業団地
関連整備事業…627万円
※令和2年度予算より繰越

ギカイの
視点

- ① コロナ禍により遅れた桜沢地区産業団地進出企業の誘致を完了し、1日も早く寄居スマートIC周辺に企業誘致できる場所の確保を。
- ② 優良企業誘致による税収増と雇用の創出・拡大は若者の定住促進に向け大きな一歩となる。スマートIC開通の利便性を最大限生かせ。

誘致推進で税収増加へ



ギカイ議論(質疑)

問 寄居スマートIC周辺地区の産業団地化への令和3年度の取組は。

答 新たな産業導入地区として追加するために、令和2年度から農村地域産業導入実施計画の変更作業を進めています。変更案をとりまとめて、県との協議を行いたい。

問 町の立地条件から見て土地利用計画の見直しが必要では。

答 第6次総合振興計画後期基本計画の策定にあわせ、検討していきます。

上り線も開通したけれど

スマートIC周辺の環境改善と上り線開通で、桜沢に続き、1日も早く開発推進を!



よしだ ただし 吉田 忠さん(用土)

鍵ボックス設置で安心(イメージ)



提言

05

安心を届ける
防災・減災

議会からの提言
令和3年度予算にどう反映

自主防災組織との連携、
新型コロナ対策を踏まえた
避難所開設訓練…624万円

ハザードマップ更新
…362万円

防災倉庫の新設、備蓄品の
拡充…938万円

消防団第1分団建て替え、消
防ポンプ車更新…2618万円

ギカイの
視点

- ① 新型コロナ対策を踏まえた災害時の避難「自らの判断で避難行動を取る」が重要。
- ② 更新するハザードマップやマイタイムラインを活用した事前準備を。

忘れるな、あの日の災害



ギカイ議論(質疑)

問 災害時に職員を待たず地元の避難所を開けられるようにすべきでは。

答 災害時は緊急を要することから、地区役員が暗証番号で解錠できる鍵ボックスを防災倉庫に設置します。

問 感染予防の観点から、分散避難や在宅避難の周知が必要では。

答 町HPやSNS等、あらゆる機会に周知を図ります。

災害への備えは日頃から

風水害は予想できます。地震に対しては、日頃から備えて自分で命を守ることですね。



やなぎはら よしお 柳原義雄さん(男倉)

一般	討論 反対	義務教育世帯に生活支援を 感染拡大で児童生徒のいる世帯が生活困窮している。学校給食を無償化し生活支援をすべきである。 大澤 博議員
	討論 賛成	厳しい財源への対応評価 町税の大幅な減少見込み。コロナ対応に必要なセクションの予算組み、基本的な事業の実施に期待する。 保泉周平議員
	討論 賛成	6つの主要事業展開に期待 当町の課題解決のため、また効果的な行政運営を着実に推進するための予算編成となっている。 佐藤理美議員
	討論 賛成	町民税の減少厳しい財政環境 選択と集中の予算配分はコロナ禍、町民福祉の向上に、さらなる期待。 稲山良文議員
計	討論 賛成	コロナ禍での予算運営 厳しい情勢のもと、新規事業の取組と拡充・継続等、必要箇所配分した予算の実行を要望する。 原口 孝議員
	討論 反対	コロナ禍では値下げをすべき 昨年大幅値上げ。今年は介護保険も値上げである。値下げをすべき。 田母神節子議員
国民健康保険	討論 賛成	医療費の抑制・適正化へ 特定健康診査の受診機会と40代未受診者への特別勧奨が「カギ」。 鈴木詠子議員
	討論 反対	75歳以上は医療費無料に 世界に例のない高齢者いじめの制度。窓口2割負担は許せない。 田母神節子議員
水道事業	討論 反対	使用料に応じた料金改定を 高齢者世帯の増加により使用料が減少。基本料金を、使用料による改定を。 大澤 博議員
	討論 賛成	合理的投資と効率的経営を 投資・財政計画を基にした経営で将来世代の負担を応分に。 原口 孝議員



本会議の録画映像が見られます
[寄居町議会 議会中継]

令和3年度予算 / 議会はこちらを見る

討論

町民の声を背に

「反対」「賛成」 私はこう主張する

ギカイの視点

令和3年度予算が賛成多数で可決。町の展望と選択に対し、何を評価し、何を評価しなかつたのか？
賛成と反対のポイントとは？
町民の声を背に感じながら、それぞれの「主張」が展開されました。



議会の答えは「可決」。

令和3年度一般会計予算（111億円）は賛成13反対2で

可決された。しかし、賛成・反対の中にも、その判断に至る議員の様々な思いがある。

新年度注目事業を中心に、各議員が町民に向けて説明する!!

「町民に知らせたい」議員16名が予算をチエツク

病後児保育、妊産婦への産後ケア（訪問型・宿泊型・日帰り型）が働く子育て世代への支援策として大きく前進。全庁的なデジタル化の推進で、さらに町民サービスの利便性UPを。

- ▶産後ケア事業
- ▶病後児保育事業
- ▶ICT利活用で効率化

鈴木詠子 議員

「稼ぐ力」を取り戻せ!! 企業誘致、中心市街地活性化、移住・定住、教育の充実は大きな柱。町づくりは人次第。若者、女性の登用、予算執行する町職員の熱意を大いに期待。

- ▶中活拠点施設整備
- ▶スマートIC周辺開発
- ▶GIGAスクール構想

峯岸克明 議員

地域生活支援拠点整備事業は、深谷市と連携し、障害者の生活を広域的に支える事業を開始。県道花園本庄線の用土地区は令和3年度測量予定。用土小学校区にグリーンベルト設置。

- ▶障害者福祉の充実強化
- ▶県道等インフラ整備
- ▶教育施設の充実強化

岡本安明 議員

女性特有のがんの予防。子宮頸がん予防ワクチン接種について中学1年及び高校1年生の保護者に対し、ワクチンの周知、接種判断の情報提供のための個別通知を実施。

- ▶空き家の利活用の推進
- ▶移住・定住の促進
- ▶子宮頸がんワクチン!

佐藤理美 議員

子ども達に夢を。建設に向け「オール寄居」で力を結集し、本気で実現。電柱電線の地中化、美しい街並みが実現。雇用経済税収に効果大。寄居スマートIC付近に工業団地の建設に期待。

- ▶男衾中建替検討事業
- ▶駅南周辺街路整備事業
- ▶企業誘致推進事業

稲山良文 議員

まちづくり会社は、中活事業ではなくてはならない。協議をして、当初は町からの補助も仕方ない。働き方改革に伴い時間外勤務を減らすことが課題。人事評価は二段階評価を行っている。

- ▶駅前拠点施設運営
- ▶時間外勤務
- ▶人事評価制度

原口孝 議員

リーマンショック以来の財政の悪化、中小業者のコロナ後の対策が重要。平倉・上の原の町営住宅廃止は、若い人の定住に不安。水道料金の値下げ等と生活支援が不可欠。

- ▶コロナ対策予算
- ▶町営住宅の今後
- ▶水道の基本料金改定は

田母神節子 議員

コロナ禍による経済の激変、地方自治体を襲う税収不足が予測される中、予算編成が行われた。税収不足分約4億円は基金の取り崩しや臨時財政対策債の発行で適切に対応。

- ▶逆風下新年度予算成立
- ▶ワクチン接種準備加速
- ▶小園中央道工事再開

吉田正美 議員

※議席番号順

新年度、注目事業^{3項目}はこれだ! 期待通りの成果あがるか、しっかり検証!!



ごんだ たかし
議員

- ▶ 男衾駅東口整備事業
- ▶ 男衾中校舎耐力度調査
- ▶ 観光農業推進事業

男衾駅東口通り線街路整備事業が令和3年度中に終わる。「男衾の玄関」として、周辺開発に期待。観光農業に力を入れ、遊休農地を活かし自然に恵まれた農地の活用方法を検討すべき。



ほすかわ しゅうへい
議員

- ▶ 活力ある農林業の振興
- ▶ 地域ブランドの創出
- ▶ 企業誘致の推進事業

農林業持続のため、担い手の育成確保、仲間づくりを進め、農地を利活用し、空き家に付随する遊休農地をセットで取得促進することで、移住・定住促進補助事業も注目に値する。



おきた ひさかつ
議員

- ▶ 男衾中校舎耐力度調査
- ▶ 有機農業実践講座
- ▶ 男衾駅東口周辺整備

拡充と新規3事業に注目。1000万円の中学校舎調査結果は注視。3900万円強の男衾駅周辺整備は期待度◎。45万円と少額の有機農業実践講座は、今後の農政の主軸として注目の新規事業。



かさはらの のりお
議員

- ▶ GIGAスクール構想
- ▶ 男衾駅周辺まちづくり
- ▶ 特定外来生物捕獲事業

教育こそ最大の仕事。未来のリーダー育成事業に期待。市街地活性化の次は男衾周辺も変革のとき、人口維持へ滞らず進めたい。急増殖のアライグマ等、駆除に500万円超の予算も期待。



なかしま ふみお
議員

- ▶ 中心市街地活性化事業
- ▶ 旧環境事業所解体事業
- ▶ 保育施設の整備

新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、経済対策等喫緊の課題が山積している。住民サービスの低下とならないよう、継続事業を確実に遂行し、新規事業も果敢に取り組まなければならない。



よしざわ やすひろ
議員

- ▶ 定住促進事業
- ▶ 空き家対策事業
- ▶ 民間活力の積極活用

子育て世帯の負担軽減と住みたくなる目玉政策の創生を。空き家の利活用及び適正管理の推進に補助金。新制度の創設に期待。駅前拠点施設の運営や空き家対策等に民間ノウハウ活用を。



おおさわ ひろし
議員

- ▶ 地域おこし協力隊
- ▶ 医療体制強化
- ▶ 介護保険強化

新型コロナウイルス感染拡大により、経済活動が制限され、景気に大きな影響を与え、失業者が増加し生活保護が増えている。町独自の施策で町民の生活を守るべき。



つくい やすお
議員

- ▶ 定住促進事業
- ▶ 旧耐震住宅除却補助金
- ▶ 住宅取得支援補助金

寄居町に移住・定住する若い世代、子育て世代に新築住宅取得費用を助成。また、新婚世帯家賃補助金を拡充したほか、「まちなか旧耐震住宅除却補助金」を新たに予算計上した。



防災のプロ 専門的見地からの「提案」

委員会レポート 今回は各委員会のテーマをさらに深掘りするため、専門家(元消防長・前教育長)から聴き、調査した内容を報告します。

よりよい町をめざして 聴く⇄動く!

寄居町の災害の特徴は風水害で道路冠水等の内水氾濫や崖崩れ土砂崩れ等が発生しやすいが、荒川からの氾濫は少ない傾向にあるという。

大切なことは自宅周辺の避難場所を日頃からハザードマップで確認、マイタイムラインを作成し家族間で共有すること。地域防災力の充実強化には事前準備、事前訓練、意識改革が最も重要だとの説明を受けた。

ギインの視点

- ① いざという時に備え、安心ではなく安全に目を向ける。
- ② 命を守るためにマイ・タイムライン(行動計画)を作成する。
- ③ 大切な家族を守るために地域住民と連携し、防災力のさらなる充実強化。



私も一言!

地震・雷・火事・台風

寄居町は深谷断層帯もあり、昭和6年に震度5の直下型地震で大きな被害があったんだってね。備えは必要だね。

あらいてるお 新井輝夫さん(用土)



未来を生き抜く教育を

田中 章氏(右)

深谷市(旧川本町)生まれ。東京消防庁に入庁し、多くの現場で人命救助に当たる。深谷消防署長、深谷市消防本部消防長を経て、現在 消防・防災アドバイザー。

轟 和男氏(左)

寄居町生まれ。東京都・埼玉県の中学校で理科の教鞭をとる。県・町の指導主事を経て、男衾中学校校長で定年。平成26年から寄居町教育長を務め、令和3年3月31日 任期満了で退任。



自らの命は自らで守る

重要施策としてアクティブラーニングを取り入れた学習やグローバル化に向けた英語教育、考え議論する道徳教育への転換を図ってきた。今後はタブレットを一人1台導入し、遠隔でも高度で多様な学習に対応。働き方改革では、教員自ら時間を生み出すことが大切で(町教員平均勤務時間10時間44分)、令和4年度から導入される小学校高学年の「教科担任制」は大きな転換点となる、との説明を受けた。

ギインの視点

- ① AIに負けず人間らしさを残した教育を。
- ② GIGAスクールにおける教員の指導力向上。
- ③ 外部講師を招き、教員の働き方改革進めよ。

私も一言!

タブレット難しそう!

覚えるのは大変だけど必要なので中学校に入ったら頑張ります。最初の学校閉鎖のときがあればよかったです。

伊藤梢善さん(用土)



タブレットは世界基準

新しい学び「町の教育」をヒアリング

公開します 3月定例会 審議議案と議員の賛否



議会ホームページでは、平成20年以降の議決結果を公開しています。

次のページは

連載コラム「視点を变えて」

上程議案・概要・結果	賛成：○ 反対：× 欠：欠席	結果	権田孝史	保泉周平	大北久勝	笠原則夫	中嶋文雄	吉澤康広	大澤博	津久井康雄	鈴木詠子	峯岸克明	岡本安明	佐藤理美	稲山良文	原口孝	田母神節子	吉田正美	
専決処分 *専決処分とは…緊急性が高く議会を招集する時間的余裕がないこと等を理由に、町長が議決を経ずに処理すること。(専決処分したものは、町長が次の議会で報告し、承認を求めています)																			
令和2年度寄居町一般会計補正予算(専決第4号)	新型コロナウイルスワクチン接種事務に係る所要額について1650万2000円の増額補正	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度 寄居町歳入歳出予算																			
一般会計	111億6344万1000円(前年度比3.8%減)	賛多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
国民健康保険特別会計	36億8050万7000円(前年度比1.1%減)	賛多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
後期高齢者医療特別会計	4億1458万9000円(前年度比1.9%増)	賛多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
公設浄化槽事業特別会計	2335万9000円(前年度比36%減)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業会計	収益的収入9億7572万1000円 収益的支出9億1888万円 資本的収入1億591万円 資本的支出8億5634万1000円(前年度比14.5%増)	賛多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
下水道事業会計	収益的収入6億948万9000円 収益的支出5億9925万3000円 資本的収入2億4872万9000円 資本的支出3億8850万3000円(前年度比6.5%減)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定・改正																			
寄居町課設置条例の一部改正	健康福祉課を福祉課に改め、保健予防に関する事務を行うため新たに健康づくり課を設置する	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄居町犯罪被害者等支援条例の制定	犯罪被害者等を支援するため、規定を整備	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正	社会福祉法人俊仁会へ町職員を派遣するため、規定を整備	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄居町職員の給与に関する条例の一部改正	災害等により指定管理職員が臨時又は緊急時に勤務した場合に支給する手当について規定の整備を行う	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄居町国民健康保険税条例の一部改正	地方税法施行令の改正に伴い、規定を整備	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄居町民ホールの設置及び管理に関する条例の制定	寄居町民ホールを設置するため、規定を整備。 ※詳細はP.23	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄居町立保育所条例の一部改正	用土保育所の廃止に伴い、規定を整備	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄居町国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部改正	新型コロナウイルス感染症に感染した被用者等に対する傷病手当金の支給に係る適用期間を延長するもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄居町道路占用料徴収条例の一部改正	電線共同溝に係る道路占用料について、規定を整備	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄居町簡易水道事業を寄居町水道事業に統合することに伴う関係条例の整備に関する条例の制定	金尾地区簡易水道事業と風布・小林地区簡易水道事業を寄居町水道事業に統合することに伴う関係条例の整備を行う	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度 寄居町補正予算																			
一般会計	[5回目] 4099万3000円(0.3%減額) 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に基づく地方創生臨時交付金を活用した事業の追加、事務事業の確定などに伴う事業費の追加・更正	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計	[6回目] 800万円(0.1%増額) 感染症対策等の学校教育活動継続支援事業に取り組むため、所要額を追加	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計	[5回目] 144万8000円(0.04%減額) 保険給付費の動向等に伴い、所要額の補正を行うもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下水道事業会計	[3回目] 収益的収入353万2000円増額 収益的支出331万2000円増額 資本的収入37万6000円増額 資本的支出589万3000円減額 職員人件費や事業費の変更に伴い、所要額の補正を行うもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度 寄居町補正予算																			
一般会計	[1回目]: 2億4835万4000円(2.2%増額) 新型コロナウイルスワクチン接種事務にかかる予算について、所要額を補正	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事・その他																			
寄居町公平委員会委員の選任の同意	任期満了に伴い再任 伴場 力さん(男衾)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寄居町教育委員会教育長の任命の同意	轟 和男教育長の任期満了に伴い、新たに関根光男さんを任命 ※詳細はP.23	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設の指定管理者の指定	寄居町農産物加工施設の管理を行わせるため、指定管理者を指定する	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の廃止	払下げ申請により1件の路線を廃止	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の認定	開発行為に伴い1件、寄居駅周辺街路整備事業に伴い1件を認定	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(注)議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ、「議長裁決」として表明。

外とオモシロイ!?

議会だよりNo.94
「声が届ける議会だより
に込めた思い」



峯岸議長のChairman's Column

清流は淀まず



「ゆく河の流れは絶えずして、
しかも もとの水にあらず」

かもちようめい
鴨長明『方丈記』冒頭の一節である。栄枯盛衰、諸行無常は人の世の常だが、大切なことは変化に抗うことではなく、変化を楽しみつつ対応することだ。

出生率は低下し将来を担う若者が激減し、空き家問題は深刻化して、いずれ町すらも使い捨てられると聞くと暗澹たる気持ちになるが、果たしてそうだろうか。

見方を変えれば、1人当たりが使えるお金・時間・空間・エネルギーなどが格段に増えるのではないだろうか。それを可能にする技術の進歩にもめざましいものがある。

寄居町を見ても、政治・経済、文化など、さまざまな分野で新しい流れが求められている。その気になれば、誰にでも、活躍の場はかつての何倍も広がっている。

大変な時代に生まれたと思うか、面白い時代に巡り会えたと思うかは、あなた次第。
——清流は淀まず

今号のキーワード

視点を変えて



自分にとって選挙は当たり前のこと。誰もが住みやすい町になればいいと思います。これからは障害者も様々なIT技術を使ってコミュニケーションを取れる時代。町のWi-Fi環境も整備してほしいですね。

かねこ おさむ
金子 修さん(録形)

「聞く」と「聴く」の違い

議会事務局のまなざし

今号に登場している町民の方は39名。誌面掲載へのご協力、ありがとうございます。町民の皆さんの「声」を直接聴くことが大切なのは、議員も役場の職員も同じ。行政に携わる者として、改めて生の「声」を聴くことの大切さを、取材を通して勉強させていただきました。これからも、『お元気ですか 寄居議会です』を通じて、皆さんの「声」、届けていきます！



聞くのではなく、耳を傾けて聴く

今号の表紙「輝く若者、寄居町」

「議会だより」もおかげさまで100号。過去を振り返るのではなく、あくまで未来を見つめて。これからの寄居に思いを込めた1ページ。多くの若者が輝く環境づくりも議会の使命。



お元気ですか 寄居議会です
「動画でたどる! 100号のあしあと」
毎号の表紙づくりに思いを込めて24年。これからも町の様子や町民の笑顔が表紙を飾り、思わずページをめくりたくなるような紙面づくりに全力!



もうすぐ選挙権 Vol.8

[一票を投じることの意味]

だれでも

あわせて
見たい
読みたい佐賀新聞チャンネル
「盲学校生、選挙の投票方法学ぶ」動画

声なき声を聴くチカラ

～「点字投票」って知っていますか？

2015年から18歳選挙権が始まりましたが、2019年に行われた統一地方選寄居町議会議員選挙は「無投票」で終わりました。

その時の中学1年生が「初めての選挙」となる4年後の統一地方選に臨むまで、議会と中学生が一緒に考えるページとして始まったコラム「もうすぐ選挙権」。8回目を迎える今回は、少し視点を変えて、目の不自由な方の投票方法の一つ「点字投票」を取り上げます。

取材にご協力いただいたのは視覚に障害のある金子修さん。「一人の声」をあげていくことの大切さについて聴きました。

点字投票は点字を使用している視覚障害の方が、人の手を借りることなく、専用の点字投票用紙で投票。投票所には点字盤が備えられています。

「寄居町に移住して28年。選挙は欠かさず点字投票を行っています。初期のころは選挙係の方の準備に時間がかかっていましたが、今ではスムーズに投票できるようになりました。」とのこと。

「転入した当時、市街地の道路標識が狭い道をさらに狭めている所や、放置自転車などの改善をお願いしたときに、すぐ対応してくれてホッとした覚えがあります」と言う。

金子さんは現在、社会教育団体を立ち上げ、様々な催しを企画。障害者と健常者とが共に生きることのできる社会を求めて活動を推し進めています。

「自分の声は本当に少数の意見。点字ブロックひと

つをとっても、あなたのためだけの道じゃないと言われてしまうのではないか」と思う時もあるが「障害者や高齢者が安心して歩ける道は、誰にとっても優しい道だということ。大ごとではなく、あるものを活かして便利になればいい」と語る。

日本にいる障害のある人の割合は人口の7.6%(*1)一方で、障害のある議員の割合は全議員の0.1%(*2)とされています。2019年に重度の障害がある国会議員が当選しましたが、議場のバリアフリー対応から始めなくてはいけないという現状です。

満18歳になれば平等の権利として「選挙権」が保障されていて、誰もが選挙に参加できますが、これからの社会はこの「多様な声」をいかに政治に生かしていけるかが鍵となります。

誰も取り残さない社会となるよう、**町政へ多様な声を。その「声なき声」を聴く議会のチカラが問われています。**



これが点字器。点字盤に用紙をセットして、点筆で打っていきます。投票所に掲示されている候補者名や投票用紙も点字になっています。

(*1) 出典：「令和元年版 障害者白書」内閣府。(*2) 内閣府調査に基づき試算。

議会広報広聴特別委員会

委員長 鈴木詠子 委員 権田孝史・保泉周平
副委員長 大北久勝・大澤博
笠原則夫 原口孝・田母神節子

発行責任者(議長) 峯岸克明

100号長寿に乾杯 EDITORS NOTE.100

なんとって100号。ヒトがたどり着くことを思うと祝杯。記念号に関わる縁に祝杯。では、寄居にはちょうど100歳になるヒトは？ なんと女性のみ、4名(4/1現在)。長寿に祝杯。(大北)



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用
議会だより関連動画
議会HPで公開中!

議員が聞いた！ 今とこれから

一般質問

3月定例会では16名中 12名が登壇しました



町のさまざまな課題等について、議員が提案も含めて、町に考えを聞くのが「一般質問」。ここでは各議員1項目についてダイジェスト版でお知らせします。

子育て・人づくり		農業政策	笠原
デジタル教科書	保泉	河川敷を活用した観光事業の新展開	笠原 P.23
産業・にぎわい		安全性・利便性・コンパクト	
コロナ禍における農業対策	中嶋	防災・減災	佐藤・大澤・津久井
日本の里風布館指定管理者の状況	中嶋	早期に鉢形駅にエレベーター設置を	田母神 P.21
寄居町農産物加工施設・里の駅アグリ館の状況	中嶋 P.20	公共施設	大澤 P.22
移住・定住促進の取り組み	佐藤 P.21	インクルーシブ公園（広場）	鈴木
コロナ禍におけるワクチン接種の取り組みと地域経済への支援・強化	田母神・稲山 P.22	コミュニティ・健康長寿	
町の総合力が求められる地場産業振興	大北 P.21	コロナワクチンの現状	保泉
企業誘致	原口	シトラスリボンプロジェクトの推進	鈴木
水道事業経営	原口	その他	
中心市街地活性化	津久井・笠原	町行政における業務の見直し	吉澤 P.20
寄居町観光協会及び観光産業の振興	津久井 P.23	行政のデジタル化（DX）の推進	吉澤・原口 P.22・鈴木 P.22
		所有者不明土地	保泉 P.21

追跡！（過去の定例会でも質問）

なかしまみお
中嶋文雄議員

H28.6月・H29.6月・
H29.12月・R1.9月定例会



追跡！（過去の定例会でも質問）

よしざわやすひろ
吉澤康広議員



指定管理更新を契機に
年間の指定管理料見直しに

加工施設の活用拡大を
アグリ館の加工施設の
利用成果は上がらず、農業の
6次産業化（*）の成果も見ら
れない状況。3月に指定管理
の更新があり、体制見直し
が行われます。今後、加工施設
利用拡大が図れますか。

併い、営業時間の変更等、効率
化運営に努めます。比較的利用
率の高いみかんジューズ製造も、
指定管理
者を核とし
た農業の6
次産業化の
範疇である
と考へ、利
用拡大を図
ります。



策案 **農産物加工施設**
提 **案** **グリーン館** **活性化を**

改善意識を持つて運営
他の手数料等を含め、職
員には常に改善意識を持つて
業務に取り組むよう指導しま



策案 **非効率な業務内容を**
提 **案** **点検・改善**

納付金額より高い郵送料
低額な手数料等を請求す
る場合、郵送料のほうが高くな
ることがあります。請求額以上
の料金をかけるこのような業
務、見直すべきと思いませんか。
す。今後もトップダウンとボ
トムアップ（現場の声）のバ
ランスを取りながら事務の改
善に取り
組んでい
きます。



（*）6次産業化 1次産業（農林漁業）×2次産業（製造業）
×3次産業（小売業等）で事業を総合的かつ一体的に推進し、新たな付加価値を生み出すこと。



各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセス！

追跡！(過去の定例会でも質問)



ほずみしゅうへい 泉周平議員



所有者不明の土地は
問 所有者不明の土地が発生する最大の要因は、相続時に登記が行われないため、相続登記しないで代を重ねると面倒となり、放置状態になることとです。所有権問題は固定資産税にも影響するため、重要と考えます。寄居町内ではどのくらいありますか。

答 町内の土地11万32筆中、所有者が直ちに判明せず、判明しても連絡がつかないという条件に相当する土地は、514筆です。



土地登記・相続登記相談中(法務局)

追跡！(過去の定例会でも質問)



さとうりみ 佐藤理美議員



H23.9月・H24.12月・
H27.3月・H27.9月・
R.12月定例会

策案 移住・定住促進のため空き家の利活用を
政提 空き家の抜本的解決は
問 新年度当初予算の主要施策の1つ「移住・定住促進」では、「空き家の抜本的解決に向け、空き家の利活用を図るため官民連携で取り組む」とあります。取組内容について伺います。
答 民間事業者のノウハウを活用したデータシステム・空き家のアプリを使用し、空き家の実態調査を進めます。調査結果を宅建業者などに提供し、住宅市場に流通させる取り組みも考えていきます。



空き家実態調査 一歩前進

追跡！(過去の定例会でも質問)



R.12月定例会

おおきたひさかつ 大北久勝議員



策案 町の総合力を発揮して地場産業の振興を
政提 農業は町の共有財産
問 地場産業、農業振興は食物確保の点でも重要です。農産物の地産地消や有機農業の推進は地方創生にもつながります。地元企業やファーマーズマーケットなどの販路拡大は、生産者個人では限界があります。総合力を持っている町の積極的な支援について伺います。

答 課題である農業者の確保を進め、6次産業化(*P20参照)や地産地消を推進するとともに、農産物の販路拡大を支援していきます。



夏野菜の収穫を待つ農地

追跡！(過去の定例会でも質問)



たもがみせつこ 田母神節子議員



策案 鉢形駅利用者の利便性、快適性の向上を
政提 鉢形駅にエレベーター
問 請願採択から3年、寄居駅前、男衾駅周辺と整備が進められました。鉢形駅エレベーターの設置は、高齢者をはじめ子育て中の若い世代も待っています。早期実現のために何が必要と考えますか。
答 東武鉄道本社に直接要望国や自治体の補助が必要
書を出し、昨年2月には東松山・寄居間複線化促進期合同同盟会の要望活動で要望しています。駅のバリアフリー化には多額の費用が必要であり、継続して要望していきます。



落ちたら大げが、気をつけて



追跡！(過去の定例会でも質問)

はらくち たかし
原口 孝 議員




**策案 行政のデジタル化に
政提 対応する人材の確保**

デジタル化推進に向けて

問 デジタル化に向けての推進計画やロードマップの策定とコンサルタントの選定や人材確保が重要であり、部門の新設、またはプロジェクトチームを創設すべきと考えますが、考えを伺います。

答 全庁的なデジタル化の推進の整備計画策定

進のため「情報システム整備計画」の策定を進めています。急速なデジタル化に対応していくため、職員の育成も検討します。



追跡！(過去の定例会でも質問)

おおさわ ひろし
大澤 博 議員




R1.9月定例会

**策案 公共施設利用予約の
政提 利便性向上を**

ホームページでの予約は

問 公共施設は文化・芸術の楽しみと生きがいの場です。新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発出により利用制限されています。公共施設予約についてホームページからできないかと要望もあります。利便性向上について伺います。

答 他自治体の導入事例や事業者への調査を実施しており、引き続き、費用対効果も考慮し、利用者にとつての最良な方法を検討していきます。



追跡！(過去の定例会でも質問)

いなやまよしふみ
稲山良文 議員




**策案 ワクチン接種に
政提 幅広い選択肢を**

集団、個別接種の選択は

問 4月頃から、高齢者に対する新型コロナウイルス感染症防止と重症化防止のためのワクチン接種が始まります。持病のある高齢者は、体調を把握しているかかりつけ医で接種することが安心安全につながるのではないですか。

答 接種は集団接種と町内病院1施設及びサテライト型接種施設10施設で実施予定。希望者は集団か個別を選ぶことができます。



追跡！(過去の定例会でも質問)

すずきえいこ
鈴木詠子 議員




R1.9月・R2.9月定例会

**策案 誰も取り残さない
政提 自治体DXの推進を**

「IT戦略室」の設置を

問 国の「デジタル庁」創設へ向け、本格的なDX(デジタルトランスフォーメーション)への転換が求められている一方、デジタル化の推進に伴う高齢者、障害者も分かりやすく使うことのできる支援も必要です。戦略推進の考えは。

答 いかなる境遇の人もICTを活用できるデジタル環境の整備は重要であり、今後デジタル活用支援の取り組みを研究していきます。



(*) DX デジタルトランスフォーメーション。進化したデジタル技術を浸透させることで、人々の生活をよりよいものに変革すること。



スマホで議会！

寄居町議会 議会中継

見たい会議や議員名を選んで視聴できます。
注) 公開までには一定の期間を要します。

追跡！(過去の定例会でも質問)



かさほらのりお
笠原則夫議員



追跡！(過去の定例会でも質問)



つぐくいやすお
津久井康雄議員



R2.9月・12月定例会

「町が管理主体」への検討
川 川の国埼玉はつらつプロ

問 緊急事態宣言でかわせみ河原が閉鎖されましたが、キャンプームで立ヶ瀬河原原はにぎわい、玉淀河原にも多くのテントが見られます。テント設営や火気使用の是非も踏まえ、観光事業として管理運営できませんか。

答 ジェクトで整備した玉淀河原は、トイレや水場のある町有地と一体的に活用できる可能性があり、町が管理主体になるよう検討していきます。



真冬の平日でも訪れる人々

河川敷活用の新展開は

策案 荒川を活用した
政提 新たな観光戦略

現時点では届いていない
答 現時点では回答は届いていません。このため、寄居町商工会長が会員を代表し、申し入れました。

光協会長に対し、「臨時総会開催請求書」を提出しました。



駅前拠点完成前に再編を

問 令和2年9月、12月定例会と質問していますが、寄居町観光協会の組織改編に関して町長が顧問として申し入れた文書に回答がありましたか。

答 令和2年9月、12月定例会と質問していますが、寄居町観光協会が2月26日に観光協会長に対し、「臨時総会開催請求書」を提出しました。

観光協会からの回答は

策案 寄居町観光協会、
政提 組織体制の見直しを

れについて審議する臨時総会を開催するよう(会則に基づき、会員5分の1以上の同意をもつて)2月26日に観光協会長に対し、「臨時総会開催請求書」を提出しました。

人事案件

教育長に
関根光男氏を選任

寄居町教育委員会教育長の選任の同意



轟 和夫教育長の任期満了による退任に伴い、新たに関根光男さん(市街地)を教育長に任命することに対して議会の同意を求めたものです。

[全員賛成で同意]

全員賛成
可決

寄居町民ホールの設置及び管理に関する条例の制定 中央公民館 町民ホールでの 有料イベントが可能に

現在の中央公民館は、社会教育法に基づいて設置した施設であるため、営利目的での使用が認められていません。今後、様々なイベントなどで活用できるよう、ホールと公民館の管理を分離する規定を整備する条例を制定するものです。



町民による文化と芸術の花開く空間へ

町の文化の発信地に

有料のコンサートやグッズの販売なども出来ず困っていました。音楽家の活動の場が増えていくことを願います。



津嶋三奈さん(桜沢)



今後は有料イベント(コンサート、演劇など)のニーズに応え、立地のよさ(駅前)を活かし、町民ホールの愛称などを付け、集客を図るべき。

これからも「声」をカタチに 町民と共に作り 4年連続 日本一!

「お元気ですか 寄居議会です」が第35回広報コンクール（全国町村議会議長会主催）で最優秀賞を受賞。2017年から4連覇です。毎号登場していただく町民みなさんの声は、議会発の政策サイクルを回す原動力となっています。今回は「議会だよりへの一言」を聴きました。

さあ、新たな出発！ 次の101号へ。



受賞号が読めます



議会だよりNo.96

 子どもも町民 しらかわだいぢ 白川大智さん (男) 子どもでも分かる内容でなければ読みません。	 思いを込めて あさか まい 浅香 舞さん (用) 期待してます。読んで感じる生きがいのある町。	 楽しみです きむらはやと 木村颯斗さん (用) 若い力で町の発信も応援していきたい。	 分かりやすく あんどうゆか 安藤有花さん (市街地) 中学生にも興味もてる内容を希望します。	 若者の登場を おおたきよのしん 太田清之信さん (折原) 家族が掲載されたことがあり、親しみがもてます。
 議会が見える よしたみつこ 吉田充子さん (男) 議会の仕事がわかりやすく、見やすいです。	 期待してます とうまあさひ 當間朝日さん (桜沢) 中学生にも読みやすい内容でお願いします。	 一般質問注目 しまだいくこ 島田幾子さん (鉢形) 政策提案に対する町の回答に注目しています。	 特集ぜひ あさみゆうじ 浅見裕司さん (鉢形) 増え続ける空き家、議会だよりで特集を。	 意見の反映を よしたくみこ 吉田久美子さん (男) もっと町民の意見を反映した議会だより。
 紙面上で あらい まする 新井 賢さん (男) 行政と住民が丸となって町の将来を考えたい。	 楽しく拝見中 もりた ゆりこ 森田百合子さん (男) レイアウトが決め手。町の様子がうかがえます。	 知りたいこと はやし かずあき 林 一知さん (西部) 若い人の声、変わる町の様子、もっと伝えて。	 どんな考えか おおく ぼあきこ 大久保明子さん (男) 様々な年代の方に見やすくわかりやすく。	 ホッとできる おおさわ しげる 大澤 茂さん (男) 高齢者も読みやすく、ホッとできる記事を。
 新しさを知る すぎた たけひこ 杉田武彦さん (鉢形) 歴史を学び、いつでも新時代に適応しよう。	 応援してます おおやま なおこ 大山尚子さん (男) 読んでみると、寄居町の発展がよくわかります。	 議論の活発化 いしわた あつし 石渡 篤さん (鉢形) 政策議論の明確化と結果がどうなったかを知りたい。	 わかりやすい さかもと しずえ 坂本静江さん (男) 議員活動の「見える化」を楽しく拝見しています。	 もっと発信を さるはし おさむ 猿橋 修さん (桜沢) 議会の様子だけでなく、もっと町の魅力発信も。

次回定例会は **6月1日(火) 開会予定**

(日程は変更になる場合があります)

請願・陳情を出される方は、**5月14日(金) 午後5時までに議会事務局へご提出ください。**

お元気ですか
寄居議会
です

No. **100**

2021年(令和3年)5月1日発行

発行：寄居町議会(議長 峯岸克明)
 編集：議会広報広聴特別委員会
 〒369-1292 埼玉県大里郡寄居町大字寄居一八〇番地一
 TEL 048-581-9995
 FAX 048-581-6911